始めましょう

●英・仏会話初歩から芸術館徒歩3分。Pあり。元CA☎0467・43・4788

お知らせ

●第63回鎌倉まつり「静の舞」動画配信
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、鎌倉まつりは「静の舞」のみ実施。5月14日から鎌倉市観光協会のYouTubeチャンネルで配信。☎23・3050

●クリーンアップかまくら2021中止
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

●元気に感謝展
5月1～31日、湘南藤沢徳洲会病院。医療従事者へ感謝を伝える大野健一さんのパステル画、俳句約15点。大野方☎24・0327

●初夏の自然観察会―保全された都市林散策
5月16日13時半、鎌倉広町緑地。無料。要申込。鎌倉市公園協会☎45・2750

●東京2020オリンピック・パラリンピック聖火リレートーチ展示
5月18日8時半～19日15時まで。鎌倉市役所本庁舎1階ロビー。☎23・3000

●公園で太極拳
5月21日10時、鎌倉中央公園。市内の小1以上対象。無料。要申込。鎌倉市公園協会☎45・2750

●子どもたこあげ大会
5月23日10時、材木座海岸滑川河口付近。和凧代（1家族）百円。鎌倉市青少年課☎61・38886

●献血に協力を（神奈川県赤十字血液センター）
6月3日10～12時、鎌倉市大町の安養院駐車場。

みる

▼川喜多映画記念館企画展「日本映画名優（バイプレイヤーズ）列伝」
6月20日まで。1950～70年代を中心に日本映画の名優の仕事ぶりを映画や書物を通して紹介する。2百円。
▽関連上映　5月18・20・22日10時半。19・21・23日14時「晩菊」。18・20日14時、19・21・23日10時半「放浪記」。25・27・29日10時半、26・28・30日14時「小早川家の秋」。25・27・29日14時、30日10時半「長屋紳士録」各千円、中学生以下5百円。☎23・2500

▼特別展「作家のきもち」
7月4日まで鎌倉文学館。手紙や日記など作家が自分の気持ちを吐露した資料から作家の素顔にふれる。5百円。
▽鎌バラまつり2021
5月11日～6月13日。鎌倉ゆかりの名をもつ「実朝」、「鎌倉小町」など約200種、250株が見頃を迎える。バラの新苗の販売も。☎23・3911

▼「旅するモノは、かく語りき　モノ語り」展
6月20日まで本郷台のあーすぷらざ。廃棄品が生まれ変わったモノ、環境に配慮したモノなど身の回りにある様々なモノを展示。一部購入可能なモノも。無料。☎045・896・2121

▼「山口蓬春　美の履歴」展
9月26日まで山口蓬春記念館。山口蓬春没後50年・記念館開館30周年記念特別展　第2期―発展の中期（5月16日～7月25日）は「蓬春モダニズム―観たまま、感じたまま、知ったまま」と題し昭和20年代に「蓬春モダニズム」と形容される作品「夏の印象」、「望郷」などを中心に紹介。6百円。☎046・875・6094

▼県立近代美術館　葉山
▽企画展　開館70周年記念　空間の中のフォルム―アルベルト・ジャコメッティから桑山忠明まで
9月5日まで。開館以来収集、展示、保管してきた彫刻や立体作品約80点。現代彫刻家が追求した空間の中の多様なフォルムを展示。8百円。

最上壽之「トントンビョウシノ　アシビョウシ」1989年　木（カスカードマツ、ベイマツ）

▽コレクション展　若林奮　新収蔵作品
9月5日まで。戦後を代表する鉄の彫刻家・若林奮の彫刻、素描、版画など。2020年度に収集家・河合孝典氏が100点余を寄贈した作品。250円。
要予約。☎046・875・2800

▼「鎌倉と浄土宗」展
5月15日～7月4日鎌倉国宝館。鎌倉市内の浄土宗寺院の寺宝や絵図、英勝寺の宝物、重文「木造阿弥陀如来及両脇侍像龕」を中心に紹介。3百円。☎22・0753

▼特別展「清方が愛した江戸、東京。人、暮らし。」
5月22日～6月27日鏑木清方記念美術館。清方が少年、青年時代を過ごした江戸の暮らしや女性像を描いた作品。「朝夕安居　夕」など約50点。3百円。☎23・6405

▼企画展「生誕90年　三浦哲郎展―星をかたりて、たれをもうらまず」
5月22日～7月18日県立神奈川近代文学館。「白夜を旅する人々」、「少年讃歌」の原稿や井伏鱒二からの書簡など貴重資料から三浦が文学に込めた思いと作品の魅力を紹介。5百円。要予約。
▽記念講演「三浦哲郎―家霊を負った人」6月19日13時半、講師は文芸評論家・勝又浩さん。6百円。要申込。☎045・622・6666

▼日本の自生アジサイ展
5月25～30日大船フラワーセンター。国内の山や渓谷に自生してきたアジサイや新たに見つかった品種を含め約2百種類、約3百鉢を展示。入園料4百円。鎌倉アジサイ同好会☎52・5547

きく

▼鎌倉みどり音楽院発表会
5月16日16時半、鎌倉生涯学習センター。材木座の鎌倉みどり音楽院の発表会。同院は1952年創立、幼児から大学受験生を中心に基礎に重点を置く教育で定評がある。今回は生徒18人と卒業生でコンクール受賞多数、演奏活動をしている北村真紀子さんらの連弾でシューマン「東洋の絵『6つの即興曲』Op 66」など。無料。要申込。松井方☎22・2705

▼木野雅之と仲間達による室内楽
5月16日14時、藤沢リラホール。湘南モーツァルト愛好会例会。モーツァルト「弦楽5重奏曲変ロ長調K174」など。4500円。☎046・872・1963

▼特撰落語名人会
5月17日18時半、鎌倉芸術館。出演は柳家さん喬、三遊亭白鳥、柳家三三。3700円。エイフル企画☎03・6240・1052

スタジオエスポワール15周年　アトリエM展開催50回　記念コンサート
歌と名画で十二支をたどる

村田望さん

鎌倉在住の声楽家・村田望さん主宰のスタジオエスポワールが15周年、村田佳代子さん主宰のアトリエM展が50回を迎え、5月15日14時鎌倉生涯学習センターで記念コンサートを開く。音楽と絵画から十二支がどのように表現されているか体感する。歌・村田望さん、お話・村田佳代子さん、ピアノ・大橋葉月さんらの出演で「うさぎメドレー」、「闘牛士の歌」など。3千円、中学生以下2千円。問い合わせ☎090・2207・0031

美術館・文学館めぐり

県立近代美術館　葉山 ☎046・875・2800	空間の中のフォルム 〔予約制〕	ジャコメッティから桑山忠明までの彫刻・立体作品	～9/5 800円
鎌倉国宝館 ☎22・0753	鎌倉の至宝	5/15～「鎌倉と浄土宗」展	～5/9 400円
鎌倉文学館 ☎23・3911	作家のきもち	漱石、康成、太宰らの手紙や日記から作者の素顔を紹介	～7/4 500円
鏑木清方記念美術館 ☎23・6405	若き清方と仲間たち―浮世絵系画家の新時代	5/22～「清方が愛した 江戸、東京。人、暮らし。」展	～5/19 300円
鎌倉市川喜多映画記念館☎23・2500	日本映画名優（バイプレイヤーズ）列伝	日本映画の黄金期を支えた名優たちの仕事ぶりを紹介	～6/20 200円
鎌倉歴史文化交流館 ☎73・8501	鎌倉大仏―みほとけの歴史と幻の大仏殿	近年の発掘調査情報や大仏殿の姿をVRで体感	～7/17 300円
観音ミュージアム ☎22・6100	本尊造立1300年特別展 こんにちは、観音さま。	後立観音など宝物から長谷寺の記憶を伝える	～7/11 300円
鎌倉文華館 鶴岡ミュージアム☎55・9030	鎌倉の伝統工芸　鶴岡八幡宮　鎌倉彫名品展	鎌倉彫の歴史的変遷と名品の数々を紹介	～5/16 800円
北鎌倉古民家ミュージアム☎25・5641	あじさいの小径とあじさい展	あじさいがテーマの作品。外にはあじさいの花も	5/22～7/5 500円
北鎌倉葉祥明美術館 ☎24・4860	新作絵本『母になる日』原画展	パパやママに寄り添う暖かいメッセージ作品の原画展	～5/28 600円
県立金沢文庫 ☎045・701・9069	武蔵国鶴見寺尾郷絵図の世界 〔予約制〕	大般若経に関する本、仏画、古文書など約100点	～5/23 500円
山口蓬春記念館 ☎046・875・6094	山口蓬春　美の履歴	7/25までの中期ではモダニズムを特集	～9/26 600円
藤澤浮世絵館 ☎0466・33・0111	相模を舞台にした歌舞伎と浮世絵　白浪五人男・曽我物語	5/14～「ザ・ライバル広重・国芳・三代豊国の共演 東海道五十三対の世界」展	～5/5 無料
横須賀美術館 ☎046・845・1211	糸で描く物語　刺繍と、絵と、ファッションと。	中・東欧民族衣装、オートクチュール刺繍など	～6/27 1100円
茅ヶ崎市美術館 ☎0467・88・1177	藤田道子　ほどく前提でむすぶ	巨大インスタレーションや立体作品を展示	～6/6 700円
神奈川近代文学館 ☎045・622・6666	永遠に『新青年』なるもの 〔予約制〕	5/22～「生誕90年三浦哲郎」展	～5/16 700円
大佛次郎記念館 ☎045・622・5002	これぞ！大佛歌舞伎	台本や筋書、ポスターなど舞台に関わる資料	～9/5 200円
神奈川県立歴史博物館 ☎045・201・0926	錦絵にみる明治時代―丹波コレクションが語る近代ニッポン	西南戦争、憲法発布などの近代日本がテーマの錦絵	～6/20 600円
そごう美術館 ☎045・465・5515	篠田桃紅 展	5/15～「近代日本洋画の名作選 展ひろしま美術館コレクション」	～5/9 1200円
県立生命の星・地球博物館☎0465・21・1515	かながわ発　きのこの新種展 〔予約制〕	近年新種として発表されたきのこの標本を展示	～5/9

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、急きょ中止・延期になる場合があります。開館状況については、各施設にお問い合わせください。

購入新図書のリスト抄
鎌倉市中央図書館（3月分）

鎌倉市中央図書館（☎25・2611）は3月に一般230冊、児童書11冊を収蔵した。一般的なものは下記の通り。

▼「アーカイブの思想―言葉を知に変える仕組み」根本彰著　みすず書房 ▼「見抜く力―びびらない、騙されない。」佐藤優著　プレジデント社 ▼「一気にわかる！池上彰の世界情勢―2021」池上彰著　毎日新聞出版

▼「喧嘩の流儀―菅義偉、知られざる履歴書」読売新聞政治部著　新潮社 ▼「なんで家族を続けるの？」内田也哉子著　中野信子著　文藝春秋（文春新書）▼「福島が沈黙した日―原発事故と甲状腺被ばく」榊原崇仁著（集英社新書）▼「腰痛難民―その痛みは、本当にただの腰痛なのか」池谷敏郎著　PHP研究所（PHP新書）▼「死ぬまで噛んで食べる―誤嚥性肺炎を防ぐ12の鉄則」五島朋幸著　光文社（光文社新書）▼「和室学―世界で日本にしかない空間」松村秀一編　服部岑生編　平凡社（住総研住まい読本）▼「仏具とノーベル賞京都・島津製作所創業伝」鵜飼秀徳著　朝日新聞出版 ▼「希望の一滴―中村哲、アフガン最期の言葉」中村哲著　西日本新聞社 ▼「田中一村―“南の琳派”への軌跡」大矢鞆音監修　平凡社（別冊太陽）

▼「時代を撃つノンフィクション100」佐高信著（岩波新書）▼「65歳から心ゆたかに暮らすために大切なこと」ショコラ著　マガジンハウス ▼「クックパッドおうちで簡単！絶品パスタ」宝島社（TJ MOOK）

◆歌壇・俳壇投稿募集　応募要領は8面に。

鎌倉朝日歌壇
木村　雅子　選

つながれてフェレット三匹散歩する朝の陽光を蹴散らしながら　片瀬　中村　喬

いたち科のペット。結句に明るさと勢いがある。

化粧坂えつちらおつちら登りゆく右に左に初音ききつつ　辻堂　柳　蒼柳

二句目のオノマトペで作者の姿が目に浮かぶようだ。

食事後の珈琲淹れてひと休み散歩はすんだ読書にするか　小坪　望月　和子

下句の口語に臨場感が出た。リズム感ある生活が素敵。

銃声の響くミャンマー自由求むる若者たちの血潮流るる　藤沢市　三浦　和子

電線に並びいずこに飛ぶべきか雀が首をひねりていたり　藤沢市　青木寿美子

鶯の初鳴きの声遠きより近きより聞こえ来て春近し　津　石川　詔子

制服のネクタイやうやう結びあげいざ中学へ口角上げて　葉山町　近藤美知子

会わぬ間にスイと背伸びた女の孫のスカートの丈夫は気にする　大船　小笹岐美子

忘れ得ぬあの日あの時あのワルツ　ボールルームに初夏の三日月　台　魚住　藤明

花影の石に上がれる亀二匹甲羅干しする行に入りたり　玉縄　杉山まるゑ

キッチンの低き小窓に鼻つけて犬は見ており外の世界を　材木座　有野裕美子

鎌倉朝日俳壇
星野　高士　選

〈天〉鎌倉の闇の深さや猫の恋　山ノ内　高橋　仁

いろんな地名の闇に嵌まるが、ここは「鎌倉」の闇で成功している。恋猫もそれを知っているかのようだ。

〈地〉白蝶の寄りつ離れつどこへやら　城廻　塩田　文子

蝶は一年中いるが季語は春。この句の様に蝶は結局はどこかへ去ってゆく。白蝶が効いている。

〈人〉花ぐもり土曜写経の龍口寺　腰越　吉田　昭子

龍口寺での写経は力も入るであろう。花ぐもりの下の言葉もよく合っていた。

雪柳近よればなほ白きこと　藤沢市　青木寿美子

俳句は発見できる事柄も大事。中七下五は正に発見だ。

花吹雪風の姿を見せて舞う　藤沢市　三浦　和子

花吹雪の美しい世界を風の姿と捉えたところが斬新。

春分や何か始まり何か果つ　藤沢市　一色千穂子

春分は二十四節季の一つで、彼岸の中日にも当たる。そんなことを踏まえながらの内容が際立っている。

春シャツのフリルは若き日の名残り　笛田　上田　満喜

白木蓮や群青色の空選び　植木　風見　玲子

桜満つ自粛の足の遠き山　腰越　小河　哲美

父も母も墓に入りし彼岸かな　材木座　有野　冬花

路地うらに通い道あり夕燕　岡本　鳴海　紀政

晴れわたる大路のさくら頼朝祭　大船　添田　洋子

春雷の耳突く音や明け近し　腰越　大川　昭子

櫻散るコロナ渦中の八十路かな　今泉　小林　貞夫

わたつみへ兄の散骨おぼろ月　腰越　松原　薫

夜明け前鱚釣る凪の和賀江島　台　魚住　藤明

春野菜食し身体を清めけり　手広　高口　道宏

廃線の錆びを隠すかよもぎ草　台　橋本久美子

まどろみの独り天下の春炬燵　城廻　小美野京子

今の世も桜花爛漫源氏池　辻堂　柳　蒼柳